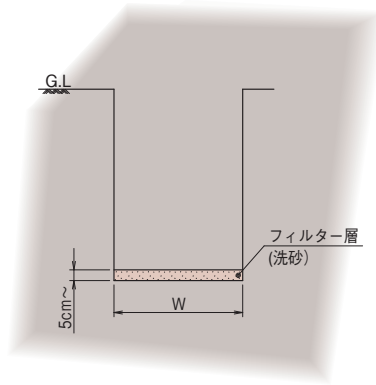


雨水浸透マスの施工

堀削・洗砂

設計図書に基づき掘削の仕上がり面を壊さないよう丁寧に掘削します。(掘削幅は右表参照)
掘削底面は水平に均す程度で、転圧はしないでください。

底部に5から10cm程度の洗砂を敷き均します。



浸透マスの標準寸法 (参考)

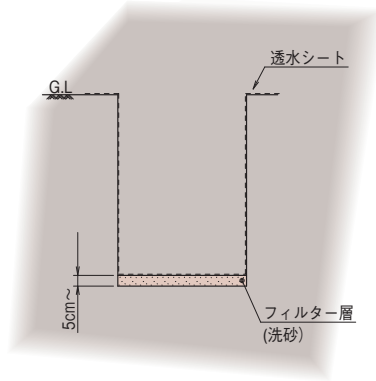
マス口径	幅 (W)
150	40cm ~ 60cm
200	50cm ~ 70cm
300	60cm ~ 80cm
400	70cm ~ 100cm

※浸透部の寸法につきましては、各自治体などの基準がある場合はその基準に従ってください。

透水シート

掘削内面に透水シート (不織布など) をクロスに敷き詰めます。

透水シートは、化学繊維で腐食しにくいものを使用し、十分な引張強度をもち、透水係数 10^{-1} cm/sec 以上、厚さ 0.1mm 以上のものを標準とします。



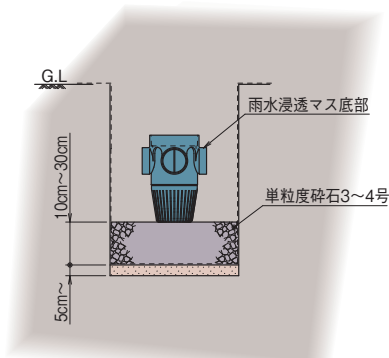
透水シートどうしの重なり代は10cm以上確保し、掘削面を完全に覆ってください。



浸透用砕石 (下部)

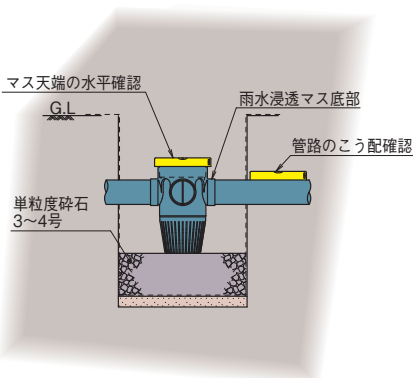
透水シートの破れ、めくれなどに注意しながら、規定の深さまで浸透用砕石 (単粒度砕石 3号~4号) を敷き、上面を水平に均します。**転圧は足踏み程度にしてください。**

マス深さ、位置を確認し、水準器を用い浸透マス底部を水平に (又は管路こう配にあわせて) 据え付けます。



据付接合

水準器を用いて、管路こう配及びマス底部の傾き等を確認しながら、浸透マス底部に、排水管を接続します。(接着接合・ゴム輪接合)



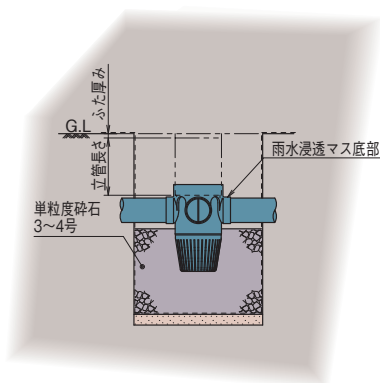
接着接合の場合は、受口、差口の接着面に接着剤を均一に塗布し、受口ストッパーまで挿入接合し、30秒から1分程度保持してください。

ゴム輪接合の場合は、受口のゴム輪、差口面に滑材を均一に塗布し、差口標線まで挿入してください。

立管長さの測定

必要な立管長さは、マス受口部ストッパー部から地表面までの長さから、使用するふた枠の厚みを差し引いた長さとなります。

排水管の下部まで浸透用碎石を充填し、浸透マス底部を固定します。



立管及びふたの接合

立管及びふたを取り付けます。
立管は垂直になるよう取付けます。

注:ふたの種類によってはバスケットが取り付け、取り外しできなくなります。必ず事前に確認願います。

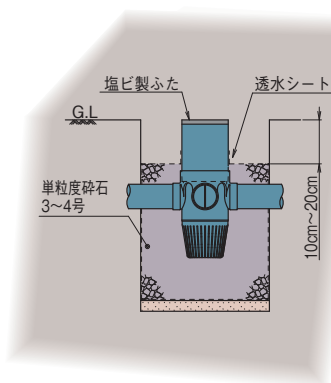
碎石充填

規定の高さ (G.Lから 10~20cm) まで浸透用碎石を充填します。

透水シート折りたたみ

地表面の透水シート端部を丁寧に折りたたみ、碎石上面を完全に覆います。

透水シートどうしの重なり代は 10cm 以上確保してください。



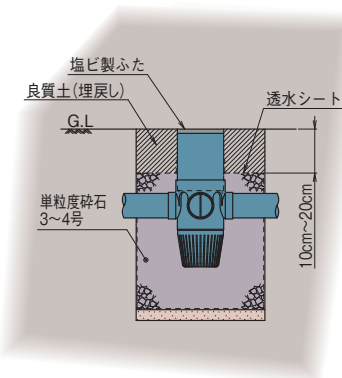
透水シート端部はマス立管部にテープ止めしてください。

埋戻し

立管の倒れ、透水シートの破れなどに注意し、規定の地表面まで、良質土で埋戻しします。

発生土を用いる場合は、石、瓦礫などの固形物を必ず取り除いてください。

床面仕上げ方法、ふたの防護方法は、汚水マスと同様にできます。



注意事項

- (1) 施工時に掘削面を締め固めると浸透能力は極端に低下するため浸透面となる掘削面は、締め固めず、ただちに敷き砂を行い碎石を投入します。
- (2) 掘削した箇所は、その日のうちに碎石を充填し、原則として降雨時は施工しないでください。
- (3) 浸透マスの碎石部に土砂等が入らないよう十分注意するほか土砂等の流入防止措置をとってください。
- (4) 工事完了後、浸透マスに対して浸透能力の確認試験を行い、浸透量を確認することが望ましい。
- (5) 施工にあたって、浸透機能を活かすよう、材料を選択してください。